

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### ダイバーシティへの異論 三品 和広 (神戸大学大学院教授)

1. ダイバーシティがブームになっている。その本質や是非に関する議論を封じる空気が漂う一方で、数値目標だけが独り歩きする現状に、私は危惧の念を禁じえない。そもそもダイバーシティとは何の多様性をいうのであろうか。ちまたでは性別や国籍、経歴ばかりに関心が向いているが、それは人間の外形的な一面にすぎない。内面的な特性として、私はキャラクターとパーソナリティとテンパメントを区別するよう心掛けている。
2. キャラクターとは、人が持つ正義心や自立心、または倫理観のことを指している。正しい選択肢と別の意味で正しい選択肢の間で決断を迫られるときにキャラクターは試されるがゆえに、欧米では試練の瞬間に備えてキャラクターはビルドしておくものとされている。そこにダイバーシティの入り込む余地はない。パーソナリティは、根が明るい暗い、饒舌か寡黙か、攻撃的か受身か、といったたぐいの性格を指している。俗に「キャラ」や「キャラ立ち」というときはパーソナリティを意味することが多い。パーソナリティについては、チーム内で組み合わせの妙があり、ダイバーシティを考慮する余地がそれなりにある。
3. テンパメントは難しい概念で、心理学者も合意には至っていない。しかし、私には我流の解釈がある。大学の教官には、試験に際して、所定の時間を持って余し伏せて寝る学生の隣の席で、鐘が鳴るまで鉛筆と消しゴムを走らせる学生を目撃する。これこそ目に見えるテンパメントの差と私は受け止める。日本企業の最大の敵は社内存在する。テンパメントの統一を図らない稚拙な採用が社内が無用なあつれきを生んでいる。  
(参考:「週刊東洋経済」2015年10月17日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 起業家精神が旺盛なこと

#### 永守 重信 (日本電産会長兼社長)

1. 事業を起こす上で最も大事なことは、起業家精神が体中からあふれ出るほどに旺盛なこと。果てしない夢を持って、その夢をどうしても形にしていこうと思いつけていくことだろう。極端に言えば、技術は未熟でもいい。最初は足りないところがあっても、顧客や市場の要望に合わせてどんどん改良していけばいい。大事なことは、人より早く、そしてどんなことがあってもやり抜くガッツだ。そのためには、土曜も日曜も朝も夜もない。人の何倍も働く心がないとだめだ。
2. こう言うと、すぐに「体育会系だ」と決めつけられるが、全く間違っている。経営者にはもう一つ大事なことがある。それは仕事をエンジョイしていることだ。努力して、工夫して、改良、改革して技術や製品を良くしていく。あるいは、ビジネスモデルを変えていくことが楽しくて仕方がない、という思いを持つことだ。  
(参考:「日経ビジネス」:2015年10月12日号)

## 心・健康・環境について

### 貧乏ゆすりは全死亡リスクを下げる

1. 座位時間が長いと出てしまう「貧乏ゆすり」。家族からみっともないと言われそうだが、貧乏ゆすりですべての死亡リスクが下がるようだ。英国の疫学調査から、研究者らは「貧乏ゆすりは座りっぱなしに関連する全死亡を減らす可能性がある」とし、そのメカニズムも含めてより詳しい検討が必要だと結論している。
2. 近年、座りっぱなしの時間が長いほど2型糖尿病や心血管疾患の発症率が上昇し、全死亡リスクが増加することが知られるようになった。貧乏ゆすりがなぜ全死亡リスクを下げるのかは不明のまま。ただ、貧乏ゆすりのような「ノン・エクササイズ・アクティビティ」は、2.5時間/日の貧乏ゆすりですべて消費されるカロリーは、1時間/日の散歩に匹敵し、うっ血した血行の改善も期待できる。  
(参考:「週刊ダイヤモンド」2015年10月24日号)

## 古典に学ぶ

### 道徳性の豊かな萌芽

(解説) 正々堂々の戦い、道徳性の何たる豊かな萌芽が、この野蛮で子供めいた、この原始的感覚の中にあることであろう。それこそ文徳・武徳すべての根本ではないか。小さなイギリス人、トム・ブラウン (イギリスの作家) が、「小さい子を決していじめず、大きな子に背を向けなかったやつという名をあとに残したい」といった少年らしい願望をきいて、私たちはニンマリする。

(参考:佐藤全弘訳新渡戸稲造「武士道」:教文館)